

2025年8月21日

各 位

会社名 株式会社アクリート  
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二  
(コード番号：4395、東証グロース)  
問合せ先：取締役経営管理本部長 山本 敏晴  
電話番号 050-5369-3777

## Forward Edge-AI, Inc. との資本業務提携（出資）に向けた基本合意に関するお知らせ

当社は、2025年8月21日開催の取締役会において、以下のとおり、Forward Edge-AI, Inc.（本社所在：アメリカ合衆国、以下Forward Edge-AI社と記載）との間で資本業務提携（出資）に向けた基本合意を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 目的及び理由

当社は、中期経営計画において「デジタル社会に、リアルな絆を」という創業以来の経営ビジョンに加え、次代のアクリートへの転換のために「超情報化社会でのキープレーヤーたれ」という新たなビジョンを掲げ、業務領域の拡大と業務精度の向上に取り組んできております。

超情報化社会と言われる今、情報の共有化が進み、様々な情報が溢れる環境の中で、情報の正確さと情報を守ることが大切な時代となっております。当社はSMS事業のパイオニアとして、こうしたニーズへの対応を含めて安心・安全・正確な情報の提供者としてコミュニケーションプラットフォームカンパニーへの転換を進めると同時に、AIを活用し、セキュリティ分野をはじめとしたソリューション事業の拡大を計画しております。

昨今、さまざまな分野での情報漏洩等のリスクが顕在化し、加えて近未来における量子コンピュータの台頭は暗号鍵解読のリスクも指摘されております。従来の暗号通信の安全性を確保するため、量子鍵配送（QKD）や耐量子計算機暗号（PQC）といった新たな技術の導入が急務となっております。これらの新たな技術のうち、QKDは情報理論的に安全性が証明されている一方で、高コストや拡張性の問題が指摘されており、実用性やコスト効率の面からPQCソリューションへの期待が高まっています。

当社では、上記の課題に対応するため、Forward Edge-AI社と資本業務提携を行い、ソリューション事業の一環としてセキュリティ分野への本格参入を図り、Forward Edge-AI社と協力して安心・安全・正確な情報の提供者となることを目指し今回の基本合意となりました。

Forward Edge-AI社は、米国を拠点とした先端的な量子暗号通信技術の分野においてグローバルに事業展開を進める企業であり、公共の安全と国家安全保障のための人工知能を開発しております。

耐量子暗号分野においては、米国の国家安全保障局(National Security Agency、NSA)とのライセンス契約および共同設計に加え、特許取得済みのアーキテクチャと AI ソフトウェアによって強化された NSA 技術(CNSA2.0 規格)を有した量子耐性型暗号ソリューション (PQC) の提供をおこなっています。

Forward Edge-AI 社は PQC ソリューションに留まらず、下記に掲げたいくつかの AI ソリューションを開発しており、公共の安全、国家安全保障、そして防衛を支える複雑な課題を解決する人工知能 (AI) ベースの技術開発において、急速にグローバルリーダーへと成長しています。

当社は Forward Edge-AI 社のこうした技術を活用し、日本市場における官公庁・金融機関等の重要インフラを対象とした安心・安全な AI ソリューションの提供を目指し、市場における競争力を高めていくことも今回の資本業務提携における目的としております。

## 2. 資本業務提携の内容

### (1) 資本提携について

当社は、成長戦略において AI 技術活用とセキュリティ分野の強化を目指しており、その中で AI 技術を活用した独自ソリューションの提供に基づいた新たなサービスの提供により事業拡大を図るため、Forward Edge-AI 社に対して同社の第三者割当増資の引受けを行なうことで出資を行ないます。

尚、当該出資の詳細につきましては、今回の基本合意の下で協議を行っており、開示が必要な状況になった場合は、速やかに開示致します。

### (2) 業務提携について

日本国内での Forward Edge-AI 社の PQC ソリューションをはじめとした同社の AI ソリューションの販売、ライセンス供与およびサービス&メンテナンス活動を独占的に行うため、当社と Forward Edge-AI 社にて合弁会社を設立することで合意しております。

当該合弁会社は、当社の販売チャネル等を活用して、日本市場での PQC ソリューションをはじめとした Forward Edge-AI 社のソリューションの販売活動を行っていくこととなります。

尚、当該合弁会社の詳細につきましては、今回の基本合意の下で協議を行っており、開示が必要な状況になった場合は、速やかに開示致します。

AI ソリューションとしては、以下のようなサービス展開を検討しております。

製品名	製品説明
Isidore Quantum®	NSA 商用国家安全保障アルゴリズムスイート (CNSA) 2.0 に準拠したユビキタス暗号化デバイスであり、量子耐性を備えています。Isidore は Forward Edge-AI の機械学習と組み合わせることで、様々な環境やあらゆるドメインにおけるエンドポイントセキュリティを実現。脅威の検知と対応のための AI を搭載。
Gabriel®	「robocall blocker」Deepfakes を見分けるツール。28 言語で詐欺、誤情報、偽情報を検出。
Blaise™	AI を活用したラマン分光により、実験室での分析を必要とせず、現場で化学汚染物質を検出・定量化します。

### 3. 業務提携先の概要

(1) 名称	Forward Edge-AI, Inc.	
(2) 所在地	10108 Carter Cyn, San Antonio, TX 78255, USA	
(3) 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer Eric Adolphe	
(4) 事業内容	人工知能 (AI)、国家安全保障、ネットワークセキュリティ	
(5) 資本金	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(6) 設立年月日	2019年9月16日	
(7) 大株主と持株比率	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(8) 純資産	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(9) 総資産	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(10) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(11) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

### 4. 合弁会社の概要

(1) 名称	フォワードエッジ AI ジャパン株式会社 (Forward Edge-AI Japan) (予定)
(2) 所在地	東京都 (予定)
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 株本幸二 (予定)
(4) 事業内容	Forward Edge-AI 社の技術を活用した製品の日本国内販売代理業務
(5) 資本金	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。
(6) 設立年月日	2025年9月 (予定)
(7) 決算期	12月 (予定)
(8) 純資産	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。
(9) 総資産	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。
(10) 出資比率	未定

※合弁会社による 2025 年 12 月期業績への影響につきましては、現在精査中でございます。

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年8月21日
(2) 契約締結日	2025年8月 (予定)
(3) 事業開始日	2025年10月 (予定)

### 6. 今後の見通し

本件による 2025 年 12 月期業績への影響につきましては、現在精査中でございます。今後、開示が必要な状況になった場合は、速やかに開示致します。

以上